



ほけんだより

令和6年3月1日(金) 東保育所



言葉の発達

唇や舌、口蓋、のどなどが発達し、耳で聞いた言葉の理解をできるようになり、伝えたい意思が強くなってくるとき、言葉がうまれます(*^▽^*)

6ヶ月～1歳:喃語(なんご)

「あーうー」「ぶーぶー」などの喃語を話すようになる。特定の人の問いかけに答えたり、自分の意志や欲求も喃語で伝えようとする。

1歳～2歳:一語文～二語文へ

自分の意志を親しい人に伝えたい気持ちが強くなる。「わんわん」などの一語文が「わんわん いた」のような二語文になっていく

2歳～3歳:三語文

日常生活に必要な言葉を理解し、「ぼく りんご 食べる」のような三語文を話すように。「なぜ?」「どうして?」という質問も増える。

3歳～4歳:複文

助詞も使えるようになり、「私はママのつくるケーキが好き」のような、二つ以上の述語が組み合わさった複文を話せるようになる

4歳～5歳:会話

話す意欲が高まる時期。友だちと楽しく会話をしたり、言葉を使ってイメージを共有し、ごっこあそびができるようになったりする

言葉の発達は体の発達以上に個人差が大きいもの。発達が遅いからといって心配しすぎる必要はありませんが、保育所では年に4回「巡回支援専門員整備事業」があります。子どもの気になる行動や、心配な事など気軽にお話できる先生が来所しますので、お話ししてみたいな♪という方はおしらせください。パパママと子どもたちが笑顔で過ごせることを第一に事業をしています(*^*)がんばっているパパママ、今日もおつかれさまでした♡

寒さがやわらぎ、外あそびやお散歩が心地よい季節になりました。子どもたちはこの一年で、見ちがえるほど大きく、たくましくなりました。これからそれぞれのペースで、成長していく姿を見守っていきたいと思います(*^^*)

すみれ組さんはたんぽぽ組さんに、たんぽぽ組さんはもも組さんにもも組さんはさくら組さんに、そしてさくら組さんはいよいよ幼稚園！進級や就園への期待、不安になる子もいます。指しゃぶりやつめ噛み気になる様子があれば、ご相談くださいね。

お子さんの成長、「見える化」しましょう。



保育所では毎月、子どもたちの身長と体重を計測しています。ぜひ、母子健康手帳などの身体発達曲線に記入して、成長を「見える化」しましょう。

数字では、増えているかどうかはわかりませんが、グラフにすると、成長曲線に沿って、順調に増えているかが見えてきます。

少し小さめでも、伸びの度合いに沿って育っているなら問題ありません。心配なのは、伸びの度合いが低い時です。

